

地方創生推進交付金等の令和4年度実績について

No.	交付金対象事業名	事業概要	事業内容	事業費(円) 交付対象経費(円)	重要事業評価指標		
					評価指標	目標値	実績値
1	世界最大級『鳴門の渦潮』を中心とした広域観光ブランディング事業 〈推進交付金〉	世界最大級の『鳴門の渦潮』を核とした観光エリアのブランディングを行い、これまで通過型の観光地であった鳴門・南あわじ両市において、若者や外国人観光客の誘客増加を図るとともに、長期滞在型の観光を誘発させることにより、観光消費額、ひいては宿泊単価率を上昇させる。また地域の観光事業者とともに商品開発を行い、稼ぐ仕組みを作り出すことにより、持続可能な地域づくりを目指す。	①新ご当地グルメ「うずの幸グルメ」第二弾として、鳴門市・南あわじ市合計36店舗に参加事業者を拡大し、51メニューを開発した。 ②南あわじ市と鳴門市の11の周遊ルートで観光スポットなどを紹介するパンフレット「Cross TRIP」の作成や、ホームページ「うずしおぐるぐる」の体験型コンテンツを追加する等、情報発信を強化した。 ③観光関連事業者を対象として、SNSを活用した情報発信等の研修会を開催した。	事業費： 21,747,000 交付対象経費： 21,747,000	①両市が新たに作成・造成を行った商品・サービスの売上高 ②両市の宿泊施設における宿泊単価上昇率	①22,000千円 ②5%	①35,710千円 (鳴門市) ②8%
2	イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現 〈推進交付金〉	徳島県東部地域15市町村及び民間事業者が連携し、圏域外からの「外貨」の獲得と地域住民の活躍の場を創出できる“観光”を経済施策として捉え、観光コンテンツを魅力あるビジネスに成長させ、旅行者等による交流人口の拡大を図ることで、「訪れてよし」「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、圏域経済を好循環させる仕組みを構築することにより、自立的で持続可能な観光地域づくりを目指す。	①「新しい旅行スタイル」に対応したニューツーリズムの推進 1自治体では対応できない課題解決や旅行者・住民のニーズを満たすための体制整備、地域のフラッグシップとなるコンテンツ(ニューツーリズム)の開発・商品造成、開発したコンテンツの情報発信や販売促進(商談会への参加、OTA等への掲載促進)を行った。 ②シビックプライド醸成・創業人材育成 開発したコンテンツを活用した新規ビジネスを実施するための創業人材育成や地域の魅力を再発見し、住民満足度を高めるためのシビックプライド醸成を行った。	事業費： 2,240,000 交付対象経費： 1,695,450	①徳島東部圏域の延べ宿泊者数 ②徳島東部圏域ひとり当たり観光消費額 ③徳島東部圏域の来訪者満足度 ④徳島東部圏域の住民満足度	①62万人増 ②10千円増 ③1%増 ④2%増	①25.3万人増 ②12千円増 ③2.3%減 ④1.2%減
3	3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム 〈推進交付金〉	関西を主要ターゲットに昨今高まっているマイクログリーン・ニーズを獲得するとともに、県内3DMOと連携して低迷している周遊・滞在型観光を促進する。 また、徳島ならではの観光資源の魅力発信やコンテンツ開発を行うとともに、国際観光の再開を見据えて戦略的にプロモーションを展開することで、観光振興を強力に推進していく。	阿波おどりや鳴門海峡の渦潮など地域の特色を生かした情報発信 ①鳴門市インバウンドプロモーション業務 ②鳴門市国内向けプロモーション業務 ③国内向けインフルエンサー観光PR旅行企画業務	事業費： 2,995,970 交付対象経費： 2,995,970	①宿泊旅行による旅行消費額 ②客室稼働率 ③観光情報サイト総アクセス件数	①197.6億円増 ②5.8%増 ③171万件増	①632億円増 ②12.6%増 ③327万件増
4	道の駅「くるくるなると」における交流拠点施設整備事業 〈拠点整備交付金〉	神戸淡路自動車道、徳島自動車道、高松自動車道の3つのICに近接し、1日当たり約4万台の交通量のある国道11号沿いという「好立地の場所」に交流拠点施設を整備し、道の駅として登録する。こうした取り組みを通じて外部からの誘客を促進させ、地域の消費拡大を促し、地域活性化を促進する。 また、本施設が「食のテーマパーク」として、若い世代や女性に訴求することも念頭に置いたオリジナル商品の開発と豊富な品揃えを行うことで、来訪者自身がSNS等で自然と自慢や共有したくなる話題性を複層的に提供し、若い世代等の本施設への目的地化の実現に繋げ、「まち」の賑わいを創出し、まちの魅力度向上を図る。	令和3年度に施設の建築工事に着手し、物産館、産直レストラン、カフェ、パン売り場、キッズルーム、体験交流研修室、情報発信施設等の整備を完了し、令和4年4月29日に開駅した。 	- ※交付金活用は令和3年度のみ	①本施設の売上額 ②本施設の新聞・メディアへの掲載件数 ③「地域ブランド調査」(ブランド総合研究所公表)の産品購入意欲度調査における「あなたは以下の地域において購入したい商品はありますか？」という問いに対する「具体的にある」と回答した回答者の割合	①5億5千万円 ②16回 ③0.8%	①15億5千万円 ②105回 ③ - ※「地域ブランド調査」において、当該調査項目が割愛